

日本心血管理学療法学会「COVID-19 関連情報特別チーム」
海外の専門情報

No.59

調査者	加藤 倫卓
情報ソースの刊行日	2020年7月2日
情報ソースの調査日	2020年7月26日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2020年7月27日
日本語タイトル	European Association of Preventive Cardiology からの COVID-19 パンデミック期の遠隔心臓リハビリテーションのための行動の呼びかけ
情報ソース	Scherrenberg M, et al. The future is now: a call for action for cardiac telerehabilitation in the COVID-19 pandemic from the secondary prevention and rehabilitation section of the European Association of Preventive Cardiology
情報のカテゴリー	急性期の心リハ、回復期の心リハ、生活期の心リハ(介護・福祉系を含む)、包括的心リハ、その他
発信地域	ヨーロッパ(ベルギー、スイス、ドイツ、オランダ)
DOI	10.1177/2047487320939671.
URL	https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/32615796/
要約	<ul style="list-style-type: none"> COVID-19 のパンデミックにより、ヨーロッパの多くの心臓リハビリ(心リハ)センターは閉鎖を余儀なくされた。 心血管疾患患者への心リハのコアコンポーネントの配信を維持するために遠隔心リハのような代替案の要求が高まっている。 遠隔心リハについて下記の内容のエビデンスが記載されている。 遠隔心リハの定義、遠隔での運動療法、遠隔での禁煙指導、遠隔での高血圧管理、遠隔での糖尿病管理、遠隔での食事指導、遠隔での患者教育等。 COVID-19 パンデミック期に遠隔心リハを設定する実際の方法について下記の内容が記載されている。 遠隔での患者の評価法、患者の選択方法、配信手段、遠隔での監視の方法。
最も注目するポイント 理学療法にどのように役立つか?	<ul style="list-style-type: none"> 遠隔心リハに関する研究の最新情報を提供し、COVID-19 パンデミック期における遠隔での包括的心リハを設定するための実用的なガイドを提供している。 COVID-19 パンデミック期が終了した後、定期的に心リハセンターに訪れることができない心血管疾患患者にも適応できる可能性がある。